

木曽川大堰ゲート操作の実施要領

次のとおり、利水へ影響を与えないよう木曽川大堰のゲート操作を実施するものとする。

なお、このゲート操作による下流放流量は、従来より増えることはありません。

1. 平水時（下流放流量 200 m³/s 未満）

【通常運用】

調節ゲートからオーバーフローのみで操作

【試験運用】

放流量が 100m³/s を超える場合、調節ゲート、洪水吐ゲート等を使ってオーバーフローとアンダーフローを併用したゲート操作を実施するものとする。

※オーバーフロー、アンダーフローとは、以下の図のとおり

2. 出水時

（下流放流量 200 m³/s 以上）

【通常運用】

放流量に応じて、全てのゲートを用いて運用

【試験運用】

安全に下流放流することを前提に、左岸側ゲートのアンダーフローを主体としたゲート操作を順次実施するものとする。

（下流放流量 1,300 m³/s 以上）

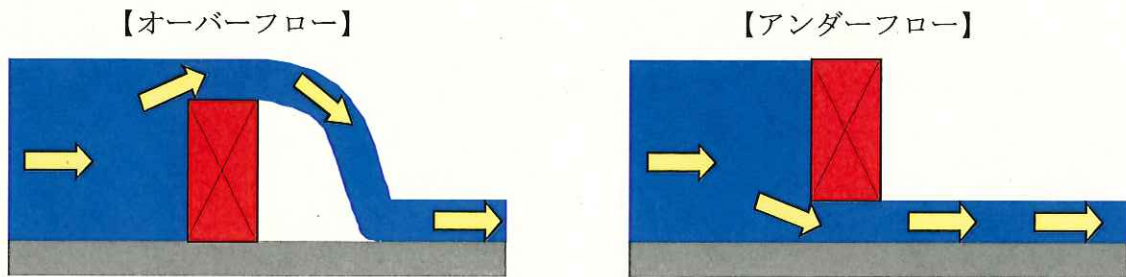
全部のゲートを全開する。（従来どおり）

3. 実施期間

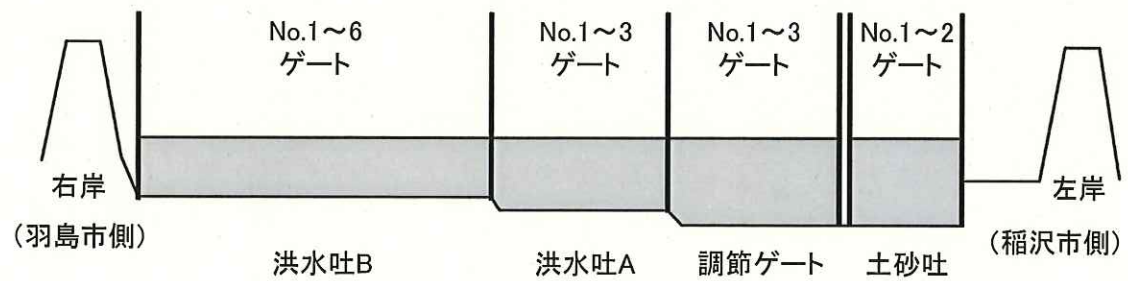
（自）平成 23 年 11 月 1 日

（至）平成 24 年 3 月 31 日

【参考】 オーバーフローとアンダーフローの概略図



【木曽川大堰 概略図】



木曽川大堰周辺状況写真（木曽川24k-30k付近）

